

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価

令和5年1月27日

補助事業者名:加西市公共交通活性化協議会

評価対象事業名:新型輸送サービス導入支援事業(AIオンデマンド交通の導入)

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
日吉地区の自家用有償旅客運送(日吉地区乗り合いタクシー)の運行に当たり、AIオンデマンドシステム「コンビニクル(順風路(株))」を導入し、予約・配車業務に活用している。	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	事業計画に基づき、R4年1月オンデマンド交通システム「コンビニクル」の契約を締結した。以後、オペレーター委託先の決定、運転手やオペレーターへの講習を2回実施し、3月28日から実証運行を開始した。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
C	【目標】日当たりの利用者数9人(3年後(R7)は26人/日) 令和4年3月28日から実証運行を開始し、同年5月2日から本格運行へ移行。 12月末時点の利用者数は累計457人、日当たりの利用者数は2.5人と目標を下回った。 ※別紙「運行実績」参照
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
累計で見ると目標を大きく下回っているが、4月の運行当初、利用者数1.6人/日であったものが12月は3.8人/日と少しずつ利用者数を伸ばしてきている状況である。運行主体の日吉地区ふるさと創造会議による地域住民への広報活動、町内巡回によるPR活動などの取組によるものと解する。 今後は、前述の取組に加え、地域のイベントとの連携や小・中学生の課外活動の送迎を担うなど新規利用者の開拓に努め、目標値の達成を目指す。	

※事業実施の適切性における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、概ね適切に実施された
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

※目標・効果達成状況における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)
 B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
 C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)

日吉地区乗り合いタクシー (R4.3.28運行開始)

月別利用者数及び運行日当たりの利用者数

令和3年度 (R4.3.28運行開始)

	運行日数	利用者数	日平均	運賃収入
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月	4日	4人	1.0人	2,800円
計	4日	4人	1.0人	2,800円

令和4年度

	運行日数	利用者数	日平均	運賃収入
4月	20日	31人	1.6人	9,800円
5月	19日	30人	1.6人	7,400円
6月	22日	35人	1.6人	6,600円
7月	20日	34人	1.7人	7,600円
8月	22日	56人	2.5人	11,400円
9月	20日	59人	3.0人	12,200円
10月	20日	63人	3.2人	17,400円
11月	20日	73人	3.7人	13,000円
12月	20日	76人	3.8人	11,800円
1月				
2月				
3月				
計	183日	457人	2.5人	97,200円

